

令和2年6月定例月会議 提案理由

◆6月5日に開会された市議会定例会月会議で、市長が述べた内容(概要)をお伝えします。全文は市ホームページで公開しています。



提案理由 全文

当面する諸課題など

環境施設更新事業

本体施設工事につきましては、昨年6月から工事着工を行い、昨年度中に、杭工事、工場棟の基礎工事などが完了しました。

現在、工場棟の建築工事、焼却炉などのプラント設備の設置工事に着手しており、12月末にはおおむね建築工事が完了する見込みです。その後、外構工事などを行い、次年度の試運転を経て、予定通りの令和3年10月の稼働に向け、鋭意、事業を進めます。

また、新環境センター稼働後の、ごみ減量化策やごみの分別区分を定めた一般廃棄物処理基本計画につきましては、パブリックコメントを実施し、結果および一般廃棄物処理手数料の見直しなどを本議会で報告・協議させていただき、新施設稼働に合わせたごみの分別方法、収集方法の見直し、ごみの減量推進方



環境センターイメージパース図

策などについてとりまとめ、秋以降に、市民・自治会・事業者の皆さまにきめ細やかにかつ丁寧にご説明し、適切な分別・収集が行われますよう、計画的に進めます。

進めます。また、市民、地域の皆さまに愛される施設となりますよう特に運営面につきまして、議会の皆さまと協議するなかで、鋭意、検討を進めます。

なお、交流拠点施設のオープンに合わせて、来年4月から環境生活部の環境政策課およびごみ減量推進課が同施設に移転する予定ですが、環境施設および廃棄物処理は、SDGsはもとより、分野横断的かつ全庁的な視点を有することから、本庁舎内にも環境連携に係る組織などを設け、環境施設および廃棄物処理策を引き続き全庁一丸となして進めます。



交流拠点施設イメージパース図

温水プールを含む交流拠点施設の整備につきましては、杭工事が4月末に完了し、現在、基礎工事に着手しており、令和3年4月の供用開始に向け、鋭意

「滋賀短期大学附属すみれ保育園」が開園し、既存園においても、保育人材の確保対策などに積極的な取り組みをいただいた結果、市内の保育園およびごども園ならびに地域型保育事業の

計29施設におきまして、4月1日現在で2,208人、前年度比142人増の児童をお受けすることができました。しかしながら、女性の就業率の上昇や昨年10月からの幼児教育・保育の無償化などの影響により、保育施設への入所希望者が大幅に増加したことから、待機児童の解消には至らず、昨年度の58人から4人減の54人になったもので



滋賀短期大学附属すみれ保育園

本年3月に策定した「子ども子育て支援事業計画」においては、令和6年度までのニーズ量を推計し、整備方針などを定めていましたが、同推計値と比較しますと、1、2歳児および3歳児以上のニーズ量が2年前倒しで推移している状況です。

今後においても、保育ニーズの増大が予想されることから、待機児童の解消とともに、将来へのニーズと無償化への対応として地域型保育事業のさらなる拡充と定員60人規模の中規模保育園の新設、さらには一部の公



保育人材バンク

立幼稚園のごも園化の整備を前倒しして進めていかなければならないと考えています。

同時に、課題となっております保育人材の確保につきましても、公立園では正規職員比率の引き上げを行い、また、民間園に対しましては、人材確保に向けた新たな補助制度の創設、さらには保育人材バンクの一層の活用など、ありとあらゆる施策を駆使し、1人でも多くの保育士の確保に努めます。

また、4月に開園しました「滋賀短期大学附属すみれ保育園」に併設された人材育成施設におきましては、潜在保育士のリカレント教育や子育て支援員の養成研修など、人材確保に向けた本市独自の取り組みを進めます。

教育施設

守山小学校敷地拡張事業については、今宿地先で進めていた教職員用駐車場の整備が4月末に完了したところです。グラウンド拡張工事につきましては、今定例会議に工事費に係る補正予算案を提案させていただいており、9月に着手し、年度内の完成を目指しており、来年の春から児童が拡がったグラウンドをのびのびと利用できるように取り組みます。



守山小学校

守山南中学校大規模改造につきましては、普通教室と特別教室が入る校舎棟増改築工事について、現在、本年8月末の完成に向けて工事を順調に進めていると伺います。



パソコンを活用した授業の様子

また、守山南中学校の給食・第2体育館建築工事については、去る5月29日の入札において、無事落札しましたので、今定例会議中に契約議決をお願いしたいと考えています。

なお、学校給食における地場産物の使用拡大や給食会計の公会計化など、給食運営に係る検討状況につきましては、委員会協議会にて協議をお願いしたいと考えています。

GIGAスクール構想の児童生徒1人1台の端末整備につきましては、まずは地方財政措置分の3人に1人分の端末整備として追加確保しました2,625台を7月に各校へ配

布する予定です。さらに、先般の国の補正予算により、今回のような学校の臨時休校時において、ICTの活用により、すべての子どもたちの学びを保障できる環境を早急に実現するため、令和5年度までに計画されていた児童生徒1人1台端末の整備について、全学年を前倒しし、今年度中に整備することとされました。

本市におきましても、残り約5,600台を今年度中に整備し、学校の授業などにおいて完全に端末を活用することも、今後、臨時休校となった際には、当該端末などの貸し出しを行い、オンライン授業などが実施できる体制を整えます。

新庁舎整備

昨年9月から基本設計業務に着手し、本年4月には、新庁舎に整備する「市民活動の場」について市民意見を募集し、「基本設計(案)」をとりまとめ、パブリックコメントを実施しています。結果につきましては、最終日の全員協議会において、報告・協議させていただきました。基本設計を確定します。

市町村役場緊急保全事業の



新庁舎外観イメージパース図

適用が令和2年度内の実施設計着手が条件となっていることから、これまでの予定では、来月に、庁舎整備にかかる債務負担行為をお願いし、その後、デザインビルド方式の入札にかかる実施方針の公表、秋ごろの入札公告を経て、年度内に総合評価方式で事業者を決定し、令和4年1月ごろから工事に着手することとしています。新型コロナウイルス感染症の拡大状況や建設市場の動向などを見極めるなか、判断します。